

JS-RW5064

4K対応64ch ネットワークビデオレコーダ

簡易マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

安全上の注意事項

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい一般事項を、警告・注意として説明しています。



警告

この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について

- 設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。
異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。
異常作動により火災や感電、けがの原因となります。
- 停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。
火災、感電、けがの原因となります。
- カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対信号ラインを接続しないでください。
火災、感電、けがの原因となります。
- 本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近すぎるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔をあけて設置してください。
火災、感電、けがの原因となります。
- 0℃～40℃の環境でご使用ください。温度が高すぎるところや低いところ、湿度の高いところには設置しないでください。直射日光が当たる場所や暖房器具など熱を発する機器の近くには設置しないでください。通風孔は塞がないでください。
火災の原因となります。
- 湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。
感電、火災の原因となります。
- 工事は販売店に依頼してください。工事には技術と経験が必要です。
火災、感電、けが、器物損壊を防ぐためにも、必ず販売店にご相談ください。

電源について

- 本機の使用電源はAC100Vです。専用のコンセントに接続して、消費電力の大きな機器（コピー機、電熱器具、冷蔵庫など）と一緒に使用しないでください。必要な場合に電源をOFFにできるように、ブレーカーやコンセントがすぐわかるようにしておいてください。
異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。電源ケーブルを切ったり、プラグを改造してはいけません。電源プラグにホコリがたまると、湿気で絶縁不良になります。プラグのホコリ等は定期的に取ってください。
火災の原因となります。
- 電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- アース（接地）は確実に行ってください。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。
- 本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

使用について

- 製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。
故障、火災の原因となります。
- 異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店までお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。
- 湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。



注意

指示事項を守らない場合、軽症を負ったり、製品が破損したりする可能性があります。

設置について

- 強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。
磁石類や電波、振動の届かないところに設置してください。
- 水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。
機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。
- 密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。
周辺環境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上あけて設置してください。
- ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。
- 強い衝撃や振動のない場所に設置してください。
故障の原因となります。

使用について

- 製品の上に重いものを置かないでください。
故障の原因となります。
- 通風のためにあいている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。
故障の原因となります。
- 製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。
故障の原因となります。
- 製品前面のHDD LEDが点滅し続けている場合は、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。
HDD LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。
- HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。

- とくにシステム稼働中は、振動や衝撃を与えないでください。デジタルレコーダはハードディスクドライブに録画データを保存しています。ハードディスクはわずかに数ミクロンの隙間をディスクが高速で回転しており、システム稼働中に振動や衝撃を与えるとハードディスクが損傷し、デジタルレコーダが起動しなくなったり、録画データが読み出せなくなったりします。内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です。約30,000時間(この時間は部品の性能を保証するものではありません)を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。
- 製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。
- お手入れは、安全のため電源をOFFしてから乾いた布や、薄めた中性洗剤等を染み込ませ固く絞った布で軽く拭いてください。シンナ、有機溶剤は塗装がはげたり変形したりするため、使用しないでください。
- 時計や設定の保存のため内蔵バックアップ電池を使用しています。全く通電を行わない場合は、3年目安あるいは必要に応じて交換をお勧めします。

付属品の確認

製品の梱包を開けて、下記の部品がすべて含まれているか確認してください。

項目		
ネットワークビデオレコーダ	電源ケーブル	ケーブルクランプ
簡易マニュアル	マウス	HDMIケーブル
保証書		



本資料を含め、下記の各種取扱説明書およびソフトウェアは、WEBサイトから入手可能です。購入先までお問い合わせください。

【取扱説明書】設置運用マニュアル(js-rw5064_im·om_verX.XX.pdf)

【取扱説明書】簡易マニュアル(js-rw5064_qg_verX.XX.pdf)

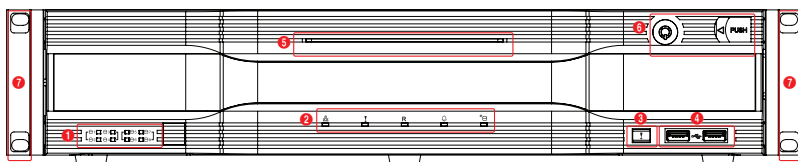
【取扱説明書】JSS遠隔監視システム (JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf)

【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム (JSS-RMS)

※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。

各部分の名称

前面パネル



1	HDD LED	2	状態LED	3	緊急録画ボタン	4	USB端子
5	電源LED	6	前面パネルロック装置	7	ラックマウント取付部		

1 HDD LED

・ HDD接続



RAIDモードまたはHDDの状態を表示します。

LED	HDD状態
緑色点灯	SATA HDD装着
緑色点滅	データの入出力発生
赤色点灯	RAID破損
赤色点滅	RAIDの再構築を行う
緑色/赤色点灯	HDD/RAIDエラー発生
消灯	SATA HDD未装着

2 状態LED

- **ネットワークLED**：本機はイーサネットによりネットワークから接続されているときに点滅します。
- **! PANIC LED**：緊急録画中には赤いLEDが点灯します。(緊急録画ボタンLED)
- **R LED**：RAID構成が正しい場合には赤色のLEDは点灯、RAID構成が正しくない場合には赤色のLEDが点滅します。
- **ALARM LED**：アラームイベントが発生すると、赤いLEDが点灯します。
- **eSATA LED**：eSATAは本機に接続されているときに点灯します。

3 緊急録画ボタン

緊急録画  ボタンを押すと、 が表示され、現在のスケジュールに関わらず映像録画を始めます。ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが解除されます。
(設定で、緊急録画使用を有効にしている場合に使用できます。)

4 USB端子

(USB2.0対応)

・ HDD接続

USB端子にUSB外付けハードディスクやフラッシュメモリを接続してバックアップに使用することができます。外付けハードディスクはなるべくNVRに近いところで接続してください。通常180cmを超えないケーブルで接続することをお勧めします。外付けハードディスクと一緒に提供されたUSBケーブルでNVRのUSB端子に接続してください。

・ 外部機器の接続(マウス等)

USB端子にUSBマウスを接続することができます。また、USB⇄シリアルコンバーターを接続し、テキストインデバイスをいくつか接続するのに使用できます。

USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

5 電源LED

- ・ 本体が動作中に点灯します。

6 前面パネルロック装置

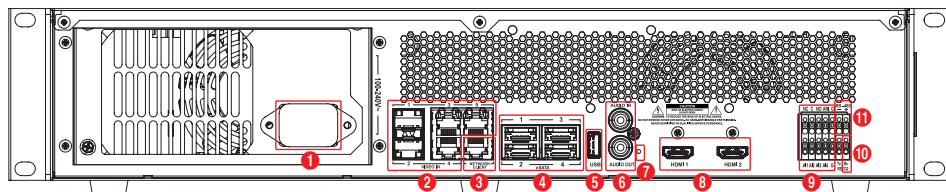
ハードディスクを交換する際に使用します。

7 ラックマウント取付部

ラックマウントへの取付け時に使用します。

-
- ・ 製品はHDDを2つ搭載した状態で出荷しています。HDDを3つ以上搭載した状態での輸送は製品にダメージを与える可能性がありますので行わないでください。
 - ・ HDDは偶数個の搭載が必要です。
 - ・ HDDの追加、交換、設定には専門の知識と技術が必要ですので、必ず販売店までご連絡いただき専門のエンジニアにご依頼ください。
 - ・ RAIDを使用する場合は、最低4つ以上のHDD搭載が必要です。

後面パネル



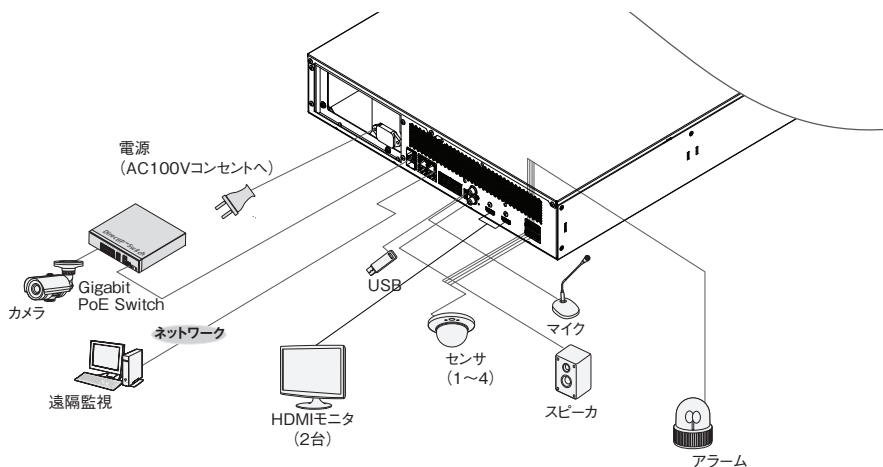
1	電源入力端子	2	ビデオ入力端子 -SFP(1~2)/RJ45(3~5)	3	ネットワーク端子
4	eSATA端子	5	USB 3.0 端子	6	オーディオ入出力端子
7	ファクトリーリセットボタン	8	HDMI出力端子	9	アラーム接続端子
10	RS232端子	11	RS485端子		

HDMI端子使用時の注意事項

- HDMIを使用する場合は、HDMIのロゴが表示された認証済みのケーブルを使用する必要があります。認証済みのHDMIケーブルを使用しない場合、画面が見えなかったり接続エラーが発生することがあります。
- 次のようなHDMIケーブルのタイプをお勧めします。
 - 高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable)
 - イーサネット対応高速HDMIケーブル(High Speed HDMI Cable with Ethernet)

後面パネルの各端子の接続に関する詳しい内容は取扱説明書(設置運用マニュアル)をお読みください。

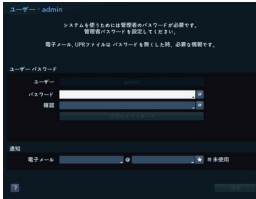
後面パネルの接続図



設置

パスワード設定

- 1 システムを初めて稼働する場合、adminユーザーアカウントのパスワード設定が求められます。



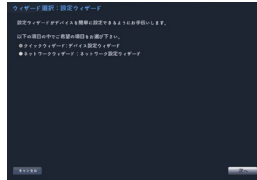
- ✓ 工場出荷初期パスワードはありません。
- ✓ 初回ログイン時に運用パスワード登録が必要です。パスワードなしでシステムを使用することはできません。
- 左下の「？」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- 電子メールアドレスとUPRファイルはパスワード紛失の際に確認用の情報として使用することがあります。当該情報を正確に入力しなかったり任意の情報が入力された場合、パスワードを探せない場合もあります。
- 電子メールアドレスの設定 あるいは UPRのエクスポートいずれかを行わないと、決定ボタンが押せません。
- **⓪**または**Ⓛ**ボタンを押すことで、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。

- ✓ パスワードは、8～16文字で英大文字、英小文字、数字、特殊記号の内、3種類以上の文字の組み合わせが必要です。
(例: jA38v2c4、a1##sb32)
- 次の文字列は使用できません。
*IDと同じ文字列
*3文字以上の連続した数字が含まれる文字列 (例: 123、321)
*3文字以上の連続した英字が含まれる文字列 (例: abc、cba、aBC)
*3文字以上の文字が繰り返されている文字列 (例: 111、aaa、aAA)

ウィザード実行

- ✓ 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行できます。
- ウィザード実行段階に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



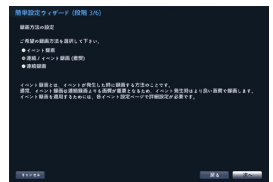
簡単設定ウィザード

• 日付/時刻設定

変更された日付/時刻の設定値は、次へをクリックすると適用されます。

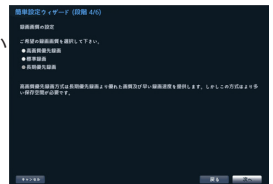


• 録画方式設定

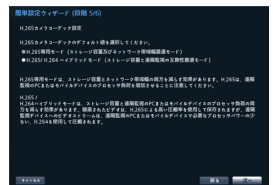


• 録画画質設定

高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。



• コーデック方式設定



ネットワークウィザード

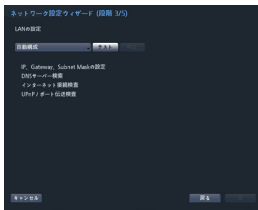
- クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定**へをクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

・インターネット接続確認



・LAN設定

テストを完了しないと、次の段階には進めません。



・UCN設定

UCNサーバに登録されるNVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



カメラ登録

セットアップウィザードが完了すると、リアルタイム監視モード画面が表示されます。マウスを右クリックし、[カメラ登録]を選択すると、NVRに接続されているカメラをスキャンして登録あるいは削除ができるカメラ登録モードに入ることができます。

- 本製品は、当社JSSプロトコル、JSS2プロトコルのカメラ接続運用を基本としています。

カメラ登録モードの実行

リアルタイム監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、カメラ登録をクリックしてください。



1	スキャンボタン (カメラ検索ボタン)	2	カメラ表示メニュー
3	カメラリストエリア	4	映像出力エリア
5	適用/キャンセルボタン		





スキャンボタン(カメラ検索ボタン)

自動で検出できなかったカメラも、いろいろな方法で検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。

- 再スキャン: 自動的に検出できなかったJSS2プロトコルのカメラを検出することができます。
- 指定カメラに移動: カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラに自動的に移動します。
- 検索範囲: 検索範囲の設定によってカメラリストエリアに存在するカメラをフィルタリングすることができます。
- 画面自動配置: 検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するとき 사용됩니다。
- 拡張スキャン: 自動スキャンに対応しないカメラを手動で検出します。
 - プロトコル: 検索したいカメラのプロトコルを選択してください。
 - NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合もあります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、代理店までお問い合わせください。
 - 本システムは当社製カメラとの組合せに最適化されています。他社のカメラを登録すると、Video設定がシステムの性能を超える場合、録画性能が保証できず、特定の機能が制約される場合があります。この場合、設定変更により、最適化した性能を發揮できるように変更してください。
 - モード: 検索モードを選択してください。
- カメラリスト: カメラの情報ファイル(.csv)を利用し、ユーザーがより簡単にカメラを登録することができます。
- 検索更新周期: カメラ検索の更新周期を設定します。更新周期を短く設定すると、カメラ検索結果のアップデートがより頻繁に更新されます。更新周期を長く設定すると、広いネットワーク網でのカメラ検索が可能です。

カメラ表示メニュー

- ・ **整列**  ボタン:映像出力エリアに表示されるカメラの画面をビデオイン端子に接続されたカメラの位置の順に再整列します。
- ・ **リセット**  ボタン:カメラ映像出力画面およびカメラリストエリアに表記されているすべてのカメラを初期化して再スキャンします。
- ・ **ビットレート**  ボタン: 各チャンネルの性能割り当てを変更することができます。
- ・ **ツール**  ボタン:カメラ関連の動作を実行することができるネットワークカメラのツールウィンドウが表示され、カメラの認証、画面配置およびプロトコルを変更することができます。

カメラリストエリア

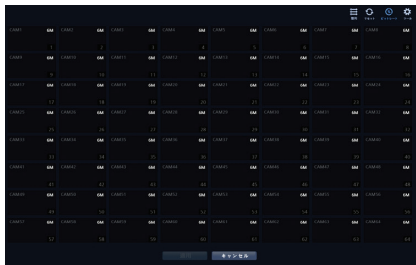
カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

- ・ **カメラ追加/削除**:リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- ・ **認証**:カメラにログインするための情報を入力します。自動で検索され、パスワード不要なカメラは省略されます。
- ・ **情報**:カメラの情報(製品名、バージョン、MACアドレス、IPアドレスなど)と接続ポートを表示します。

映像出力エリア

映像出力エリアでマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示を切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして表示位置を調整することができます。



適用/キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、適用ボタンを押してください。

適用ボタンを押すと、メッセージウィンドウが表示され、自己診断を実行するか、しないかを選択できます。

- 自己診断機能については、取扱説明書(設置運用マニュアル)をお読みください。

キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。

- 他のNVRに登録されているカメラは登録できません。



ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- 1 監視モードで、マウスを右クリックしてログインをクリックしてください。



- 2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、決定ボタンを押してください。

- マウスでパスワード入力項目をクリックすると、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。
- ・  または  ボタンを押すことで、パスワードの表示/非表示を切り替えることができます。

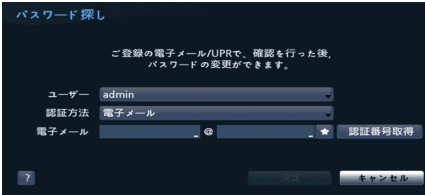
- 3 ログアウトするには、マウスを右クリックしてログアウトをクリックしてください。



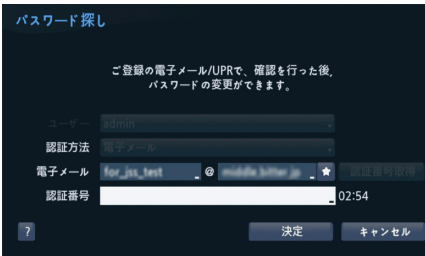
パスワード探し

パスワードを忘れた場合パスワード探しボタンを押すと、新しいパスワードが設定できます。

- 1 ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールアドレスを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。UPR(User Password Reset)認証方法を使う場合、UPR認証方法を選択してください。

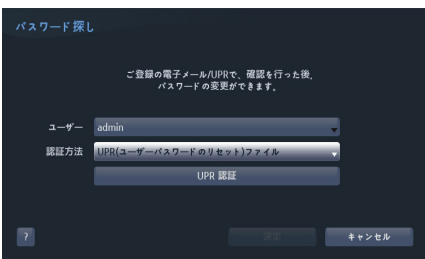


- 2 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。

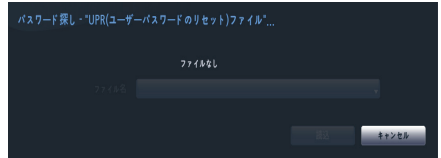


- 左下の「?」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールを利用して使用するためには、SSL / TLSに対応するメールサーバを使用できるように設定する必要があります。

- 3 UPR(User Password Reset)認証を入力し、UPR認証ボタンを押してください。



- 4 事前に保存したUPR(User Password Reset)ファイルを選択して読み込みボタンを押してください。



基本機能

リアルタイム監視

カメラの登録が完了すると、リアルタイム監視モードに入ります。リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面右端に近づけると、画面右側にリアルタイム監視メニューが表示されます。各メニューの上でマウスのボタンを押すと、メニューを選択することができます。

ビデオ録画

監視映像を録画します。録画に関する詳しい内容は取扱説明書(設置運用マニュアル)をお読みください。

緊急録画機能

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画 **!** アイコンを選択すると、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画 **!** アイコンを選択してください。録画設定>一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。




- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定>一般で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。
- 設定で、緊急録画使用を有効にしていなかった場合は動作しません。



録画モードが上書状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録音

録画設定>一般でオーディオ録音設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。

 設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。

保存された映像の再生

マウスを使用して、映像を再生することができます。

全チャンネル再生

- リアルタイム監視モードで、マウスで画面右端メニュー検索を選択してください。
- 検索モード ▶ アイコンを選択し、**タイムラプス検索**、**イベントログ検索**または**サムネイル検索**を選択してください。
- タイムラプス検索**、**イベントログ検索**または**サムネイル検索**に切り替わります。

WEB Client 2

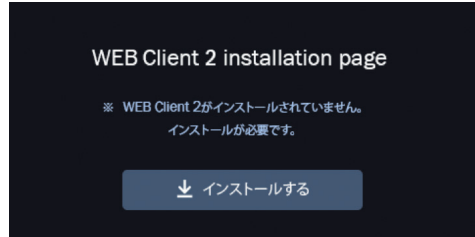
WEB Client 2はインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。ウェブブラウザ(Google ChromeあるいはMicrosoft Edge)を用いて簡単に接続できます。

WEB Client 2を実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

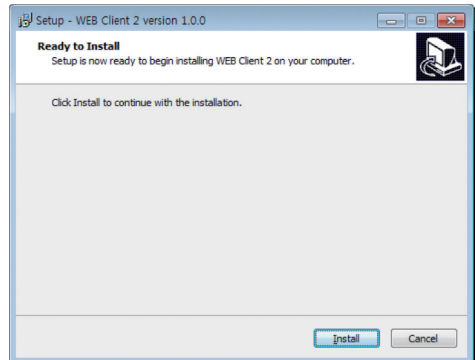
- OS : Microsoft® Windows® 11
 - CPU : Intel Pentium IV 2.4GHz以上 (Core 2 Duo E4600推奨)
 - RAM : 1GB以上 (2GB推奨)
 - VGA : 128MB以上 (1280x1024、24bpp以上)
 - Microsoft Edge : 98.0.1108.43以上
 - Chrome : GoogleChrome 22.0.1229.0以上 (59.xxx以上推奨)
- ウェブブラウザを実行してからアドレス入力欄へ以下の情報を入力してください。
 - “http://IPアドレス : ポート番号”(DVRシステムIPアドレス及びネットワーク - WEB Client 2設定から設定したWEB Client 2接続ポート番号(デフォルト値 : 12088)入力)
 - 或いは“http://UCNサーバアドレス/UCN名”(UCNサーバアドレス及びUCNサーバへ登録されたDVR名入力)

- 接続するDVRのIPアドレス及びWEB Client 2のポート番号はネットワーク管理者へお問い合わせください。

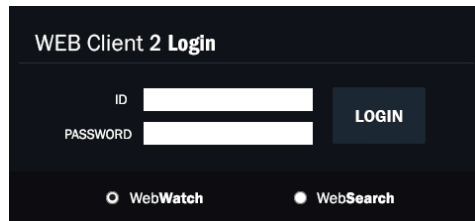
- 初めてWEB Client 2を使用する場合、「インストールが必要です」の画面が表示されます。
 - 次の画面が表示されたら、ボタンをクリックして「installCWG_Jss.exe」ファイルをダウンロードします。



- ダウンロードしたファイルのあるフォルダまで移動してから、installCWG_Jss.exeファイルを実行します。



- WEB Client 2のログイン画面が出たら、“WebWatch”(ウェブ監視)または“WebSearch”(ウェブ検索)を選択します。ID及びパスワードを入力して[LOGIN]ボタンをクリックすると選択したモードに接続されます。





- Microsoft® Windows®では映像転送速度の低下によりWEB Client 2のスクリーンの画面が表示されなかったり、更新しなかったりする恐れがあります。本症状の場合は、ご使用のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。
- 管理者権限でコマンドプロンプト実行(“スタート”メニュー → “すべてのプログラム” → “コマンドプロンプト” → マウスの右ボタンを利用し、“管理者として実行”選択)。“netsh int tcp set global autotuninglevel=disable”を入力してからENTERキーを押してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。
- オートチューニング機能を再度復旧するためには管理者権限でコマンドプロンプトを実行してから“netsh int tcp set global autotuninglevel=normal”を入力してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。

JSS遠隔監視システム

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 11 Windows® Server2019 以上	
CPU	Intel® Core™ i7-12700K 3.6GHz以上	Intel® Core™ i3-2100 以上
RAM	16GB以上	2GB以上
VGA	NVIDIA® GeForce® GTX1060、Quadro P2000以上 (1920×1080または2560×1440 60Hz)	NVIDIA® GeForce® GT710 (1280×1024、60Hz) または Intel® HD Graphic530 以上
HDD	6GB以上の空き容量 SDD	4GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	100Mbps Ethernet 以上

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Microsoft® Windows® スタートメニューのコントロールパネルに移動し、電源オプションでモニター節電機能とハードディスク節電機能を使用しないに設定してください。

- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDのSetupのフォルダの下にあるsetup.exeファイルを実行します。



Microsoft® Windows® でユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- 3 インストール画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
- 4 プログラムがインストールされる経路を指定した後、次ボタンをクリックします。
- 5 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。



NET FrameworkとVisual C++Runtime Librariesが自動的にインストールされます。インストール時、時間が少々掛かる場合があります。

ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

- 6 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

JSS遠隔監視システムソフトウェアをインストールするとデスクトップに**JSS遠隔監視システム**のジャンプアイコンが生成されます。**JSS遠隔監視システム**のジャンプアイコンをダブルクリックしてJSS遠隔監視システムプログラムを実行します。

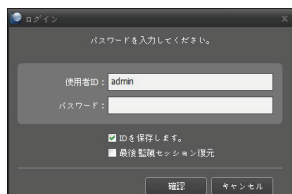
ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



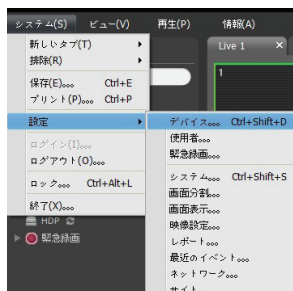
- **IDを保存します:** この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元:** 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。

- 使用者IDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

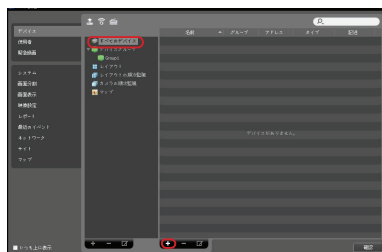
デバイスの登録

JSS遠隔監視システムで提供する機能を使用するためには、まずJSS遠隔監視システムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

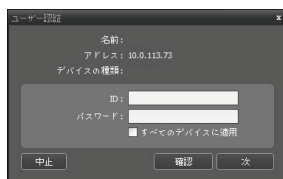
- 1 システムメニュー > JSS遠隔監視システム設定 > デバイスを選択します。



- 2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある + ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 検索モードを選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- 4 **デバイス検索画面**の下段の**デバイス登録**ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、**確認**ボタンを押してください。

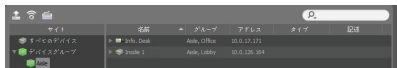


- 6 サイトパネルで**デバイスグループ**をクリックした後、**サイトパネル**の下段にある + ボタンをクリックします。**デバイスグループの追加画面**が表示されます。



- **名前:** デバイスグループの名前を入力します。
 - **場所:** 該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある**選択されたデバイスリスト**欄に追加されます。**確認**ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。
- 7 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。**サイトパネル**で**デバイスグル**

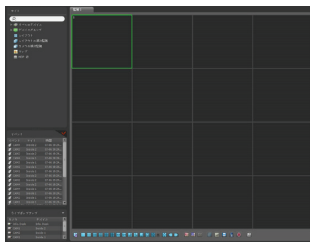
ープをクリックした後、デバイスグループの左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、サイトパネルの下段にある ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正**画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

JSS遠隔監視-モバイル 2



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN(WiFi)を使用することをお勧めします。携帯会社のインターネットで接続する場合、課金されることがあります。

Androidのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAndroid Playストア(Google Play) アプリケーションを実行してください。
- 2 Playストア(Google Play)アプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



ローカル
を検索



QRコード



アドレス





UCN



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

iOSのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAppストア  アプリケーションを実行してください。
- 2 Appストアアプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイル2と入力してください。
- 3 JSS遠隔監視-モバイル2をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 画面右下の  デバイス追加ボタンを押します。ローカルを検索、QRコード、アドレス、UCNのいずれかを選択し、デバイス情報を入力してください。

デバイスを追加



ローカル
を検索



QRコード



アドレス



UCN



- ローカルを検索を選択して、デバイスを追加する場合は、本アプリ設定のローカルネットワーク設定を有効にしてください。
- QRコードを選択して、デバイス追加する場合は、本アプリのカメラ設定を有効にしてください。
- UCN以外でデバイスを追加する場合、アプリを起動している端末は、WiFi接続し追加したいデバイスと同一ネットワーク接続していることを確認してください。

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

JS-RW5064

仕様

ビデオ	ビデオ入力	64ch
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF (Profile S、ver22.12)
	ビデオ出力	HDMI (Ver.1.4b) : × 2
	最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔)	540Mbps (90 + 400 + 50)
	ディスプレイ解像度	HDMI : 3840 × 2160、1920 × 1200、1920 × 1080、1680 × 1050、1600 × 1200
	最大ディスプレイ速度	最大 1080ips
録画	最大ディスプレイ処理能力	90Mbps、480ips@フルHD、120ips@UHD
	最大処理能力	400Mbps、1920ips@UHD
	最大録画解像度	12MP (ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.265、H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、プライベート、パニック
	性能	64ch synchronous playback
	検索モード	タイムラプス (カレンダー日時指定)、イベントログ、テキストイン、サムネイル
保存	HDD	内蔵 : 24TB (標準) / 48TB / 72TB / 96TB (最大)
	バックアップ	USB 記録装置 (USB HDD、USB メモリなど)
	RAID	RAID 1、5、10
ネットワーク	本体内蔵 PoE カメラポート	—
	外部 Video ポート	Gigabit Ethernet (Video In) × 3 + SFP (Video In) × 2
	クライアント接続ポート	Gigabit Ethernet (Client) × 1
	転送速度	50Mbps / 100Mbps (BRP Mode)
	PoE 電源供給能力	—
	イベントアラーム	Email (添付ファイル (.cbf、.mp4))、コールバック (遠隔ソフトウェア)、Push 通知 (モバイルアプリ)、FTP 通知 (添付ファイル (.cbf、.mp4))、HTTP
インターフェース	オーディオ入力 / 出力	Local (NVR) : 1RCA / 1RCA + 2HDMI、IP Camera : 64 / 64 (カメラに依る)
	アラーム入力	4TTL、NC/NO Programmable、2.4V (NC) or 0.3V (NO) threshold、DC5V / IP Camera64 (カメラに依る)
	アラーム出力	1 接点出力 (NC / NO)、2A@AC 125V、1A@DC 30V / IP Camera64 (カメラに依る)
	アラームリセット入力	1TTL、Terminal Block
	内蔵ブザー	有り
	シリアルインターフェース	RS232 (Terminal Block)、RS485 (Terminal Block)
一般	USB 端子	USB 2.0 × 2、USB 3.0 × 1
	外形寸法	約 440 (幅) × 88 (高) × 515 (奥) mm ※突起物含まず
	質量	約 11,160g (HDD2 個装着時)
	使用温度範囲	0 ~ 40°C (湿度 90% 未満 ※結露しないこと)
	電源 / 消費電力	AC100-240V、50/60Hz、3.0-6.0A / 145W
	同梱物	NVR本体×1、電源ケーブル×1、ケーブルランプ×1、簡易マニュアル×1、ドアロックキー×2、マウス×1、HDMIケーブル×1、保証書×1

外形寸法図

単位 : mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。 本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけわしく）
- ② 品名と品番（4K対応 64ch）
ネットワークビデオレコーダ【JS-RW5064】
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

ご購入元メモ欄

株式会社 ジャパン・セキュリティシステム

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング南館11階

www.js-sys.com/

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。